



松陽学区

SHOYO



松陽学区の由緒など

松陽学区とは

松陽学区は昭和46年に、松尾学区から分かれて発足しました。「松陽」という名は、当時の富井京都市長が名付け親となり決まりました。「松」は松尾の松から取り、常緑樹で年中青々として長寿で縁起がよいものとして、「陽」は松尾の南を表し日に向かって明るく伸び伸びと発展する学区であるとの意味や願いが込められています。

DATA

人口	9,872人
世帯数	4,066世帯
面積	2.064 km ²

※平成27年国勢調査
(平成27年10月現在)

京都大学桂キャンパス、西京図書館、総合病院、福祉施設等もあり、史跡天皇の杜古墳公園など緑も多く素晴らしい地域です。学区民の絆を深め「人の命、心、生き方」が大切にされる、活気ある明るい松陽

(1) 4~5世紀頃の古墳時代の名残

京都市内最大級の「天皇の杜古墳」以外にも、松陽学区山田地区には「猫塚町」「車塚町」「箱塚町」と古墳があった場所を示す町名が現存しています。



「史跡天皇の杜古墳保存会」環境大臣表彰受賞祝賀会

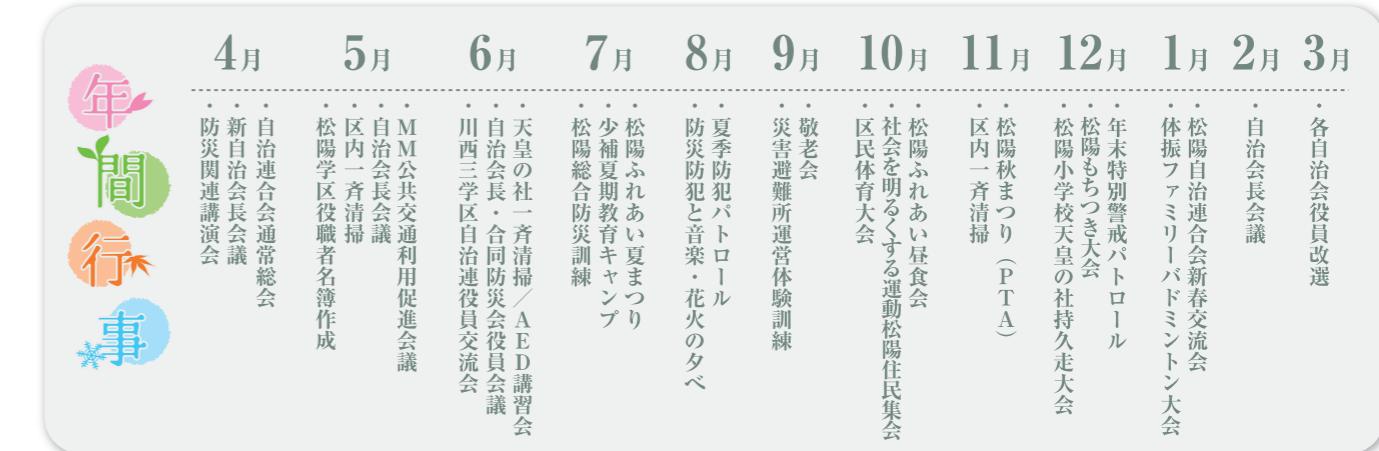
(2) 条里制の遺跡

西京区役所西側の嵯峨街道を南北線、区役所北側道路を東西線として北端の現畠ヶ田町が一ノ坪、二ノ坪、庄田町が三ノ坪、現四ノ坪、久田町が五ノ坪、現六ノ坪とあり、条理西端の跡と推定されます。(なお、諸説あります。)

(3) 茶香居(たいこうきょ)

山田上ノ町に茅葺の重厚な民家があります。戦国時代から400年以上存続する山口家の住まいで、公家であった葉室家・徳大寺家に代々仕え、すぐ傍の葉室御靈神社社司も勤めました。この地が山城葛野郡下山田村であった頃は、村庄屋でもありました。近年、この建物は文化庁国登録有形文化財に指定され、限定的に公開されています。

(史料 京都の歴史15 西京区) 京都市、平成6年 準拠)



松陽学区の取組

(1) 松陽自治連合会創設40周年を記念し、平成22年4月から広報紙「しょうよう」を創刊。A3判両面印刷で行事予定・実施報告、役員人事、学区民功労表彰、地元史、女性コラムなどを記載して年間6刊発行。既に7年目に入り、フルカラー版36号を発刊済み。

(2) 学区内の嵯峨街道を走る市バス69号系統は、従来は1時間1本程度で利用者も僅か。状況を改善すべく平成26年6月より、当時の京都大学大学院神田准教授を座長に、西京区役所地域力推進室、京都市交通局、松陽自治連・住民でMM(モビリティ・マネジメント)公共交通利用促進会議を年間2~3回実施。その結果、「JR桂川駅」への接続を実現、さらに平成28年3月には「西京区役所前」バス停新設と、1時間2本に増便を実現した。益々の利用者増加が望まれます。



学区の誇り

松陽小学校 PTA 役員、自治連合会広報紙「しょうよう」編集委員などに携わり、常に感じる事は、松陽学区の皆さまは本当に「温かい」です。自治会、各種団体、小学校の先生、PTAの方々と、色々な行事をきっかけに、皆さまと繋がり、相手を思い合う。進めて行く事は、全てが上手くいく事ばかりではありませんが、その中で必ず相手の思いを尊重され、模索して答えを出す。このような学区の皆さまを誇りに思います。

(松陽学区自治連合会 広報紙編集委員)

PHOTO GALLERY



松陽ふれあい夏まつり

例年7月下旬に開催。
本年で7回目。江州音頭や炭鉱節は生演奏が自慢! 参加者は毎年増加し、浴衣姿は花火のようです。



松陽学区敬老会
(ホテル京都エミナース)



松陽区民体育祭
(例年10月第一日曜日)



松陽秋まつり (PTA)
(例年11月中旬)



松陽もちつき大会
(例年12月下旬)